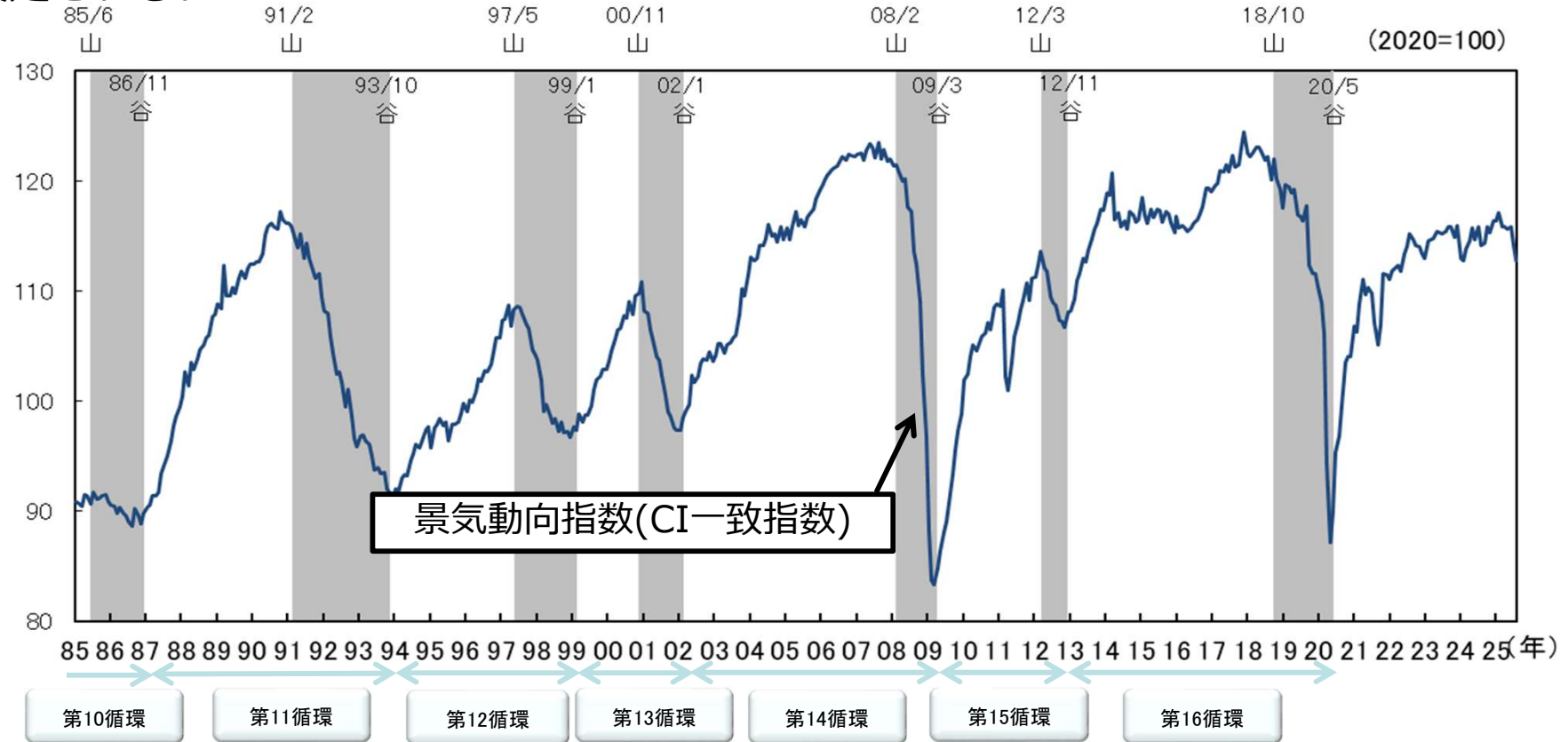


3. 景気統計

景気基準日付（景気の高・谷）

景気の高・谷は、景気循環に関する専門家により構成される景気動向指数研究会の議論を経て設定される。



(備考)内閣府「景気動向指数」より作成。シャドー部分は景気後退期を示す。

海外では景気の高・谷はどこが決められている？

米国では、NBER(全米経済研究所)が、専門家で構成される委員会の議論を踏まえて、景気の高・谷を判定。

景気動向指数とは？

- ・景気の現状把握等のため、景気に敏感に反応する指標を選択・合成した指数。毎月作成・公表。
- ・景気動向指数でみた基調判断（あらかじめ決められた基準に機械的に当てはめたもの）も毎月公表。
（「改善」「足踏み」「局面変化」「悪化」「下げ止まり」の5段階で表現）

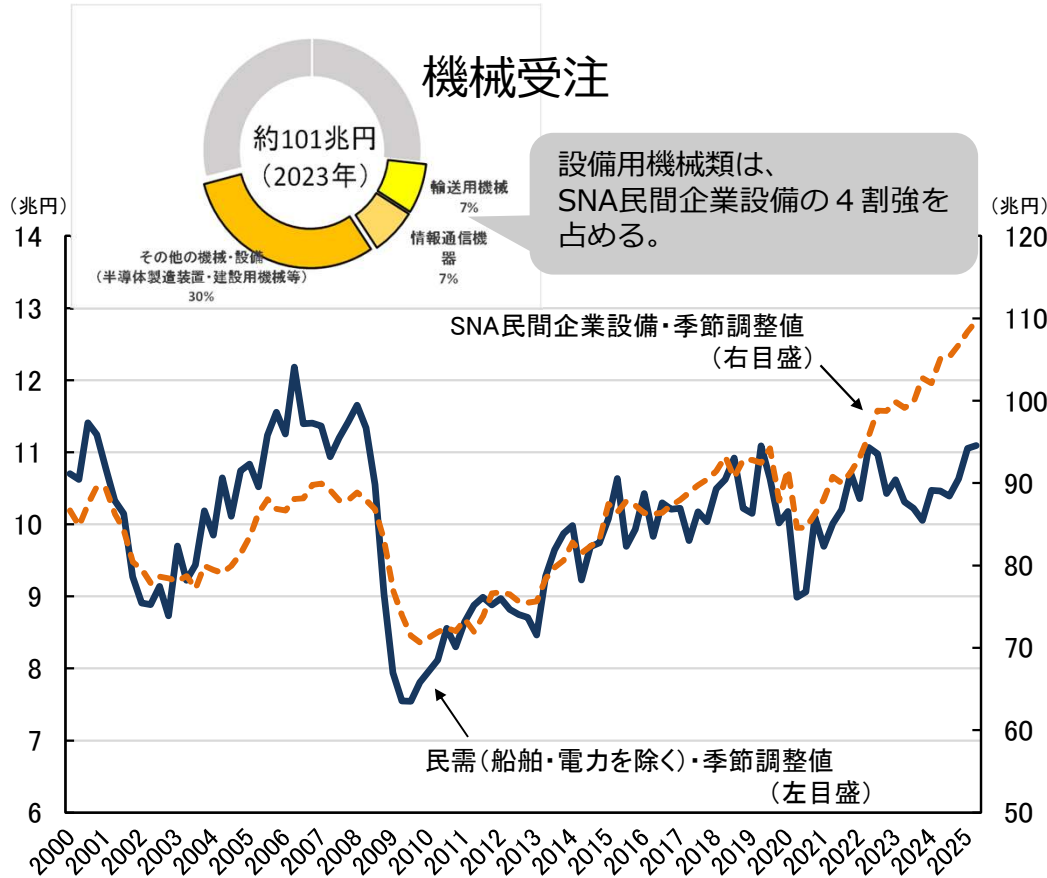
景気動向の早期把握

＜機械受注統計調査＞

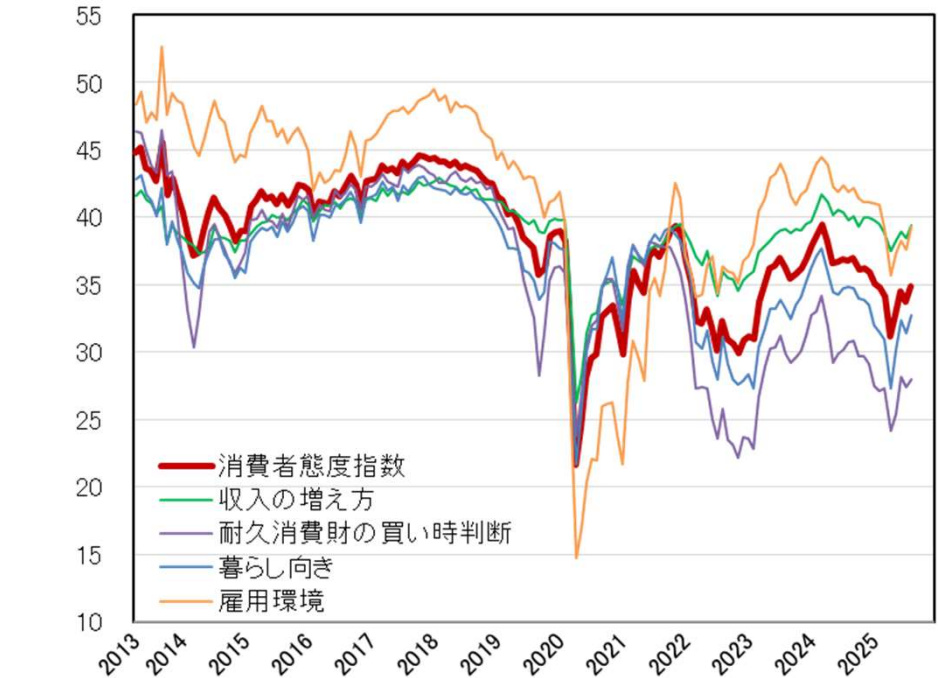
設備投資動向の早期把握のため、民間企業による設備用機械類の受注実績を毎月調査・公表。「船舶・電力除く民需」は民間設備投資の先行指標とされている。

＜消費動向調査＞

消費者マインドや消費者の物価見通しを把握するため、全国より抽出した世帯に対し毎月調査・公表。



消費者態度指数と意識指標 (二人以上の世帯、季節調整値)



(備考)内閣府「消費動向調査」より作成。
消費者態度指数は、今後半年間の暮らし向きの見通しなどについて消費者の意識をとらえるもので、「暮らし向き」「収入の増え方」「雇用環境」「耐久消費財の買い時判断」の4項目を単純平均して算出している。

(備考)上図は内閣府「2023年度(令和5年度)国民経済計算年次推計」より作成。
下図は内閣府「2025年4-6月期四半期別GDP速報(2次速報値)」及び「機械受注統計調査」より作成(いずれも名目年率換算値。民需(船舶・電力を除く)は公表値である四半期値を4倍している)。